

## 富岡西高等学校 学校運営協議会 議事録(令和8年度 第1回)

### 1. 開催概要

- ・ 日時:令和8年7月7日(火)15:00~16:30
- ・ 場所:富岡西高等学校 多目的室
- ・ 出席者:学校運営協議会委員7名(校長含む)、本校職員8名

### 2. 開会の挨拶

### 3.会長・副会長の選出

### 4. 令和8年度 学校経営方針の説明

### 5. 教育課程・教育活動・学校評価について

### 6. 意見交換(主な提言と議論)

- ・ テーマ1:理数科の強みの再定義と明確な差別化
  - 委員からの意見:「地域からの期待として、本校は『勉強だけでなく部活動や学校行事にも全力で取り組める文武両道の学校』というブランドイメージがある。しかし、理数科に関してはさらに踏み込んだアピールが必要だ。」
  - 具体的な強みの提示:「理数科最大のメリットは『3年間同じ目標を持つ仲間とクラス替えなしで落ち着いて切磋琢磨できる環境』と、『少人数制を活かした大学入試に向けた極めて手厚い個別指導』にある。中学生に対し、普通科や他校との差別化ポイントとして、これらの強みをより明確に言語化し、前面に押し出してアピールすべきである。」
- ・ テーマ2:小高連携の評価とメディアを通じた積極的な広報戦略
  - 委員からの意見:「高校生が自ら小学生に理科の楽しさを教える実験教室などの取り組みは、生徒自身にとって最高の『学びのアウトプットの場』となっており、教育的効果が非常に高いと評価できる。」
  - 広報への展開提案:「こうした素晴らしい取り組みが地域に十分に知られていないのはもったいない。テレビ放送、地元紙、SNSなどの各種メディアを戦略的に活用し、高校生が生き生きと探究活動に打ち込む姿を、中学生やその保護者に向けてもっと大々的に宣伝していくべきだ。」

- テーマ3:データに基づいた広報戦略(入学動機のトレース調査)
  - 委員からの意見:「中学生に対する広報を効果的に行うためには、『中学生が最終的に本校を選んだ決め手は何だったのか』を正確に把握する必要がある。」
  - 具体的な調査の提案:「現在の在校生に対し、『入学のきっかけ』『普通科と理数科で迷った際の最終的な判断理由』などを詳細に問うアンケート調査を学内で実施してはどうか。他校の成功事例では、台湾研修などの象徴的なプログラムが強い入学動機(フック)になっていることが多い。調査データから中学生の心に響く『面白さのフック』を抽出し、次年度以降の学校案内や説明会等の広報活動に直結させるべきである。」

## 7. その他

次回、第2回協議会は9月中旬以降に、高校生の活動の様子を直接見ていただく機会とすることを連絡。

## 8. 閉会